

第1号議案

令和3年度事業報告並びに収支決算の承認について

事業報告総論

1. 総括

令和3年度は、昨年度から続いているコロナの影響に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や米国の量的緩和政策の縮小などにより、原油価格や輸入穀物・粗飼料価格が高騰し畜産物生産コストの大幅な上昇を招いた。そのような中、福井県ブランドの「若狭牛」は、8月に牛マルキン事業で1頭5万4千円を超える交付金が交付されるなど、畜産農家の売上が向上しておらず、加えて畜産物の生産コストの高騰は、今後の畜産経営の収益性の低下が懸念される。

そのため、当会は関連団体と協力してWEB上で「若狭牛」の消費拡大イベントを実施したり、国の緊急対策事業である肥育牛経営等緊急支援特別対策事業など価格補填対策を追加で実施したりと、肥育経営の所得向上の一助となる事業等を実施した。

こうした畜産を巡る情勢の中、本協会は、畜産関連業界・団体と行政の連携・調整役として重要な役割を担い、国、県、中央団体の補助事業を補完する団体として経営診断、価格補填、畜産クラスター事業、楽酪事業の窓口団体等、経営技術の効率的、効果的な支援事業により県内生産者の経営改善と基盤強化に取り組んだ。

特に、牛マルキンによる肥育農家への所得補填は、農家の経営安定に寄与したほか、畜産関連の機械導入を行う畜産クラスター事業や楽酪事業の実施により、畜産経営者へのセーフティネット構築や畜産経営者の新たな取り組みへの支援を実施した。

衛生指導事業では、高度化する生産体制の確立と、高品質な畜産物生産を確保するため、牛、豚、鶏に対する自衛防疫事業を強化するとともに、鳥インフルエンザの発生防止にも努めた。

家畜改良事業では、牛群検定、家畜登録および優良精液の利用推進を図り、乳用牛の改良と若狭牛の効率的生産に努めた。

また、福井県では、県営牧場でのふれあい体験学習を展開しており、協会も積極的に事業参加して消費拡大と畜産への理解推進を図った。

2. 総会等の開催状況及び組織

1) 総 会

開催年月日	議案とその議決事項
令和3年6月 定時総会 (令和3年6月28日)	第1号議案 令和2年度事業報告並びに収支決算の承認について 第2号議案 任期满了に伴う役員を選任について
第68回通常総会 (令和4年3月25日)	第1号議案 令和3年度収支予算の補正について 第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算計画について 第3号議案 賦課金等の金額および賦課方法・徴収時期について 第4号議案 借入金の最高限度額および借入先について

2) 理 事 会

開催年月日	議題とその議決事項
令和3年6月 理事会 (令和3年6月15日)	1. 令和3年6月定時総会の開催日程等について 2. 令和3年6月定時総会提出議案の審議について
令和4年2月 理事会 (令和4年2月24日)	1. 第68回通常総会の開催日程等について 2. 第68回通常総会提出議案の審議について 3. 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る事務手数料の額の設定について

3) 監事会

開催年月日	議案とその議決事項
令和3年5月 (令和3年5月19日)	1. 令和2年度における事業実施状況・会計決算についての監査

4) 組 織

(1) 会 員

ア. 正 会 員

	年度始 現在数	本年度 増加数	本年度 減少数	年度末 現在数	備 考
各 J A	2			2	県下10JA合併
J A福井県中央会	1			1	
J A福井県信連	1			1	
J A福井県経済連	1			1	
全共連福井県本部	1			1	
各市町	0			0	
畜産団体	7			7	農業共済組合 県肉用牛協会 県養鶏協会 県獣医師会 県家畜改良協会 県酪農農協連 県和牛生産振興会
福井県	1			1	
合 計	14	0	0	14	

イ. 準会員

なし

(2) 機 構

ア. 役 員

(R4.3.31 現在)

役職名	氏 名	所属・役職名
会長理事	富田 勇一	J A福井県中央会・会長
理 事	寺井 敏高 岡田 高大 宮田 幸一 坂田 和洋 瓦 惣一 高木 平光	J A福井県・代表理事副組合長 J A福井県・理事（奥越地区） J A福井県・代表理事副組合長 福井県農業共済組合・専務理事 福井県和牛生産振興会・会長 福井県獣医師会・会長
代表監事	西尾 宗雄	J A福井県・理事（福井地区）
監 事	牧野 正男	J A福井県・代表理事副組合長

イ. 職 員

職 名	年度始 人員	本年度中の移動		年度末 人員	備 考	
		任用	解任			
一 般 職 員	事 務 局 長 (総括畜産コンサルタント)	1	0	0	1	
	畜産コンサルタント	3	0	1	2	
	事 務 職 員	0	1	0	1	
計	4	1	1	4		

実施事業

1 畜産振興に関する事業

本事業は、県内畜産農家が、消費者へ継続的かつ安定的に畜産物を供給できるようにするために、畜産農家の生産技術向上及び経営技術習得を指導する事業であり、下記の事業を実施した。

1) 畜産農家の生産技術向上に対する事業で、家畜の改良や改良に必要な情報収集を実施する事業

(1) 家畜改良繁殖推進事業【福井県補助事業：626,000円】

乳用雌牛群の効率的かつ総合的な能力検定の推進により、優良乳用雌牛群の選抜確保と能力に応じた利用および効率的な飼育管理ならびに検定済種雄牛の計画的増頭を図るため、乳用雌牛の飼育農家を対象に検定雄牛および後代検定材料牛の検定の実施、記録の収集ならびに検定成績による指導を14戸465頭実施した。

(2) 家畜改良繁殖推進事業【福井県委託事業：162,000円】

乳用牛群検定の普及定着及び後代検定による乳用牛の能力向上を図るため、全国の牛群情報を収集すると共に、データを集計分析し、農家指導等県段階の事業推進に努めた。

(3) 乳用種雄牛後代検定事業【家畜改良事業団委託事業：26,556円】

後代検定事業推進のため調整交配の促進、後代検定娘牛受胎奨励に努めた。

(4) 乳用牛改良増殖推進事業【家畜改良事業団委託事業：24,000円】

乳用牛の遺伝子情報を用いたゲノミック評価の信頼性を向上させるため、SNP検査に必要な未經産牛のサンプル収集を行い、泌乳持続性の高い乳用牛の改良を進めた。

(5) 日本家畜人工授精師協会委託事業【日本家畜人工授精師協会委託事業：41,494円】

乳用雌牛に対する交配品種ごとの人工授精および受精卵移植の交配実績のデータ収集を四半期毎に実施し、将来動向を事前に的確に把握することにより乳用後継牛確保に努めた。

2) 畜産農家の経営診断および改善指導、消費者に対する畜産物の情報提供により畜産振興を図る事業

(1) 畜産経営技術指導事業【地方競馬全国協会補助事業：6,902,000円】

地域での畜産振興を推進するため、畜産技術の研修などを支援、畜産に対する理解醸成のための消費拡大イベントの実施や、地方競馬のPR活動を行った。

(2) 畜産経営技術高度化支援指導事業【福井県補助事業：890,000円】

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を早急に育

成するために、畜産農家同士の切磋琢磨のなかで、自ら経営改善に取り組む意欲・努力を助長するとともに、指導体制および指導手段・内容の充実を図ることにより、畜産農家の経営技術の高度化に対する支援・指導を総合的に実施した。

(1) 畜産農家に対する情経営技術高度化指導（個別指導）

①先進経営育成のための集合研修	5回
②経営計画の作成指導	12回
③経営改善のためのフォローアップ指導	23回
④生産技術の改善指導	24回

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入）【中央畜産会委託事業：355,387円】

地域の畜産関係者が有機的に連携し、地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスター計画の中心的な経営体に対し、収益力の強化等に必要な機械のリース導入について、事業実施手続き等の効率化および事業実施体制の強化を図った。

(4) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業【中央畜産会委託事業：112,111円】

酪農経営における働き方改革の実現を一層加速化するため、酪農家による省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備に対する支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(5) 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）【中央畜産会委託事業：130,051円】

酪農家や肉用牛農家に対して、省力化（労働負担軽減）・生産性向上を図ることを目的に ICT化等の新技術を活用した機械装置のリースによる導入を支援する事業において、県内での円滑な推進を図った。

(6) 畜産関係団体調整機能強化事業【中央畜産会委託事業：1,603,355円】

現下の畜産をめぐる厳しい内外環境に対処するため、県内畜産経営者からの経営・技術・制度・資金等各種相談に応じる畜産経営相談窓口となり、畜産経営者等への支援を実施した。

2 畜産経営の安定のための価格差補填金の交付に関する事業

本事業は、県内肥育牛生産者が、安定的に経営を継続していけるように販売した肉用牛に対する価格差補てんをする事業であり、下記の事業を実施した。

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

畜産経営の安定に関する法律（昭和36年法律第183号）に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付することで、肉用牛肥育経営の安定を図った。なお、当協会は農林水産大臣が指定する積立金管理者として、負担金を適切に管理した。

(ア) 令和4年3月31日現在 契約戸数：28戸

(イ) 肉用牛交付金交付実績

(単位：人、頭、円)

区 分	品種区分	交付対象		交付金額	うち機構交付金 うち積立金	
		人数	頭数			
合 計	肉専用種	22	79	2,475,808	1,856,850	618,958
	交雑種	41	192	7,300,833	5,475,606	1,825,227
	乳用種	7	8	316,906	237,677	79,229
	小 計	70	279	10,093,547	7,570,133	2,523,414

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業【農畜産業振興機構委託：5,299,414円】

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務を、円滑に実施した。なお、標記制度委託要綱第4に基づき、事務の一部を下記の事務委託先へ委託して実施した。

福井県農業協同組合、越前たけふ農業協同組合、福井県経済農業協同組合連合会、福井県配合飼料価格安定基金協会

(3) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（肥育支援事業）【中央畜産会委託：430,486円】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内外の需要減少により枝肉価格が低下し、畜産農家の経営悪化が危惧されている。このため、経営体質強化に取り組む畜産農家へ、出荷頭数に応じた奨励金を交付する事業を県内において円滑に実施した。

事業参加者数 25人、奨励金交付頭数 204頭、奨励金交付金額 4,080,000円

(4) 肥育牛経営改善等緊急対策事業（肥育牛経営等緊急支援特別対策事業）【中央畜産会委託：659,830円】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う価格・需要の変動により、肥育経営等は厳しい環境に置かれており、コスト低減等の経営体質の強化等が必要である。このため、経営体質強化を図る畜産農家へ出荷頭数に応じた奨励金を交付する事業を県内において円滑に実施した。

事業参加者数 22人、奨励金交付頭数 178頭、奨励金交付金額 3,560,000円

3 家畜の伝染性疾病の予防、生産衛生に関する事業

安全安心な畜産物を生産・提供するための家畜疾病予防対策や家畜衛生指導を行った。

(1) 家畜防疫互助基金支援事業【農畜産業振興機構補助事業：117,884円】

口蹄疫、豚コレラ等の悪性伝染病が発生した場合に備え、生産者等が損失を互助補償するための仕組みについて、その趣旨、事業の内容等の周知徹底に努め、家畜防疫互助事業への加入を推進した。

4 その他の事業

1) 乳牛及び和牛の改良を推進するために、家畜改良事業団の精液取扱窓口団体として凍結精液の販売を行う事業

県内の乳牛・和牛の種畜改良および生産性の向上を図るために、(一社)家畜改良事業団等の精液取扱窓口団体として、酪農家及び和牛繁殖農家等に牛の凍結精液を販売した。

(1) 精液等取扱事業【独自事業：9,562,300円】

精液配布本数	乳用牛	872本	和牛	696本	後代検定	84本
液体室素配布	県内5ヶ所おおむね40日間隔で年9回補給した。					

2) 家畜改良の促進を図るために、家畜の登録事業を行う事業

家畜の改良増殖、生産効率向上のため、県内の酪農家で生まれた子牛の遺伝的な情報を登録し、近親交配・遺伝的不良形質をもった牛の生産を回避するための家畜登録を推進した。

(1) 家畜登録事業【独自事業：700,960円】

自動登録	133頭	血統登録	0頭
遺伝子型検査	21頭	更正	0頭

自動登録を推進し、登録の普及啓蒙を図った。

3) 県内畜産公共施設での家畜衛生業務や消費者への体験学習業務により、家畜衛生の向上や畜産の普及啓発を図る事業

県内畜産公共施設において、家畜衛生業務の速やかな実行のための業務員配置、消費者の畜産知識の向上を図るための体験ガイド配置および家畜飼養管理等のための業務員配置を行うことにより、家畜衛生および畜産の普及啓発等の向上を図った。

(1) 家畜衛生業務委託事業【福井県業務委託事業：3,905,000円】

牛海綿状脳症(BSE)の湿潤状況および防疫対策を検証するため、死亡牛の適正処理とBSE検査を円滑に行えるよう、死亡牛等の解剖補助・処理の業務を行い、良好な家畜衛生業務及び環境維持に努めた。

(2) ふれあい畜産体験学習等案内業務委託事業【福井県業務委託事業：10,982,400円】

畜産試験場等の公営畜産施設において業務員を配置し、ふれあい牧場の施設管理、家畜の管理をするとともに、動物とのふれあいや体験学習の案内及び畜産に対する理解醸成に努めた。

体験学習実施	52団体	2,005人	見学者対応	31,643人
--------	------	--------	-------	---------

(3) 畜産試験場家畜飼養管理等業務委託事業【福井県業務委託事業：13,640,000円】

畜産試験場において業務員を配置し、家畜の飼養管理等を行うことで、試験研究等の業務

補助に努めた。

4) 畜産振興に係る技術指導等

消費者と家畜とのふれあいを図るため、放牧管理やハウス養豚の技術支援や、畜産物の消費拡大イベントの共催、地方競馬のPR等を実施し、畜産の振興を図った。

(1) 畜産関連書籍等取扱事業【独自事業：73,910円】

中央畜産会の発行する出版物を斡旋し、畜産生産者・関係者への確かな情報提供を行った。

(2) 消費拡大事業【独自事業：1,422,525円】

生産者団体・JA関係との共催によるネット上での「若狭牛クイズ」やクラウドファンディングについて支援し、ブランド和牛の消費拡大につながるイベントを実施した。

(3) 地域活性化応援事業【独自事業：1,666,597円】

これまでの放牧指導に加え、ハウス養豚にて養豚業を開始する耕種農家への支援指導及びWEBセミナーへの要望調査や実施に向けての講師選定を実施した。

また、地域畜産物を応援するために生産者が実施する消費拡大イベントへの支援を実施した。

(4) 地方競馬支援対策事業【独自事業：258,321円】

県が実施するさまざまなイベントにおいて、県内消費者へ地方競馬のPRを実施するとともに、JAに「競馬LOVE畜産」PRのための支援を実施した。

一般指導および畜産振興にかかる諸事業

関係機関・団体との緊密な連携のもとに、必要に即し畜産経営指導および経営能力向上等の指導に努めるとともに、各畜産共進会等への協力と優秀入賞家畜飼養者に対する褒賞等を行い、畜産農家の生産技術と意欲の高揚促進に努めた。

また、各関係機関・団体等における各畜産振興事業に対し積極的に協力するとともに、本県畜産の安定的発展に努めた。

(各畜産共進会等に対する褒賞状況)

共進会名	開催年月日	褒賞
第28回福井県肉牛枝肉共励会	令和3年12月6日	賞状および副賞

貸借対照表

令和4年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,711,570	8,183,890	△ 4,472,320
未収金	9,800,547	8,979,751	820,796
前払費用	199,400	241,931	△ 42,531
流動資産合計	13,711,517	17,405,572	△ 3,694,055
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	32,300,000	29,800,000	2,500,000
家畜衛生基金	0	0	0
肥育安定基金預金	15,774,151	9,541,730	6,232,421
特定資産合計	48,074,151	39,341,730	8,732,421
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	48,074,151	39,341,730	8,732,421
資産合計	61,785,668	56,747,302	5,038,366
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,440,571	7,967,520	△ 2,526,949
預り金	313,376	286,175	27,201
未払消費税等	1,572,559	2,872,767	△ 1,300,208
流動負債合計	7,326,506	11,126,462	△ 3,799,956
2. 固定負債			
退職給付引当金	32,300,000	29,800,000	2,500,000
長期預り金	0	0	0
肥育安定基金	15,774,151	9,541,730	6,232,421
固定負債合計	48,074,151	39,341,730	8,732,421
負債合計	55,400,657	50,468,192	4,932,465
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	6,385,011	6,279,110	105,901
一般正味財産合計	6,385,011	6,279,110	105,901
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	6,385,011	6,279,110	105,901
負債及び正味財産合計	61,785,668	56,747,302	5,038,366

正味財産増減計算書

令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
賦 課 金	3,911,900	4,305,500	△ 393,600
賦 課 金	3,911,900	4,305,500	△ 393,600
事 業 収 益	10,263,260	14,098,590	△ 3,835,330
家 畜 登 録 事 業 収 益	700,960	804,760	△ 103,800
精 液 取 扱 事 業 収 益	9,562,300	9,051,350	510,950
予 防 接 種 事 業 収 益	0	4,242,480	△ 4,242,480
受 取 補 助 金 等	46,370,192	48,174,068	△ 1,803,876
牛 疾 病 検 査 円 滑 化 推 進 対 策 事 業 費	0	543,041	△ 543,041
家 畜 改 良 繁 殖 推 進 事 業 (補 助 金)	626,000	626,000	0
畜 産 経 営 技 術 高 度 化 支 援 指 導 事 業 費	890,000	890,000	0
畜 産 経 営 技 術 指 導 事 業	6,902,000	5,588,000	1,314,000
家 畜 改 良 事 業 団 補 助 金 (奨 励 金)	280,004	272,717	7,287
日 本 ホ ル ス タ イ ン 登 録 協 会 補 助 金 (還 元 金)	182,220	278,580	△ 96,360
家 畜 衛 生 業 務 委 託 事 業 費	3,905,000	3,905,000	0
家 畜 改 良 繁 殖 推 進 事 業 費 (委 託)	162,000	113,000	49,000
ふ れ あ い 畜 産 体 験 学 習 等 案 内 業 務 委 託 事 業 費	10,982,400	10,338,900	643,500
畜 産 試 験 場 家 畜 飼 養 管 理 等 業 務 委 託 事 業 費	13,640,000	12,650,000	990,000
肉 用 牛 肥 育 経 営 安 定 交 付 金 制 度 業 務 委 託 事 業	5,299,414	5,371,830	△ 72,416
家 畜 防 疫 互 助 基 金 支 援 事 業 費	117,884	72,750	45,134
畜 産 ・ 酪 農 収 益 力 強 化 整 備 等 特 別 対 策 事 業 費	355,387	341,443	13,944
酪 農 労 働 省 力 化 推 進 施 設 等 緊 急 整 備 対 策 事 業	112,111	112,331	△ 220
畜 産 経 営 体 生 産 性 向 上 対 策 事 業	130,051	159,415	△ 29,364
畜 産 関 係 団 体 調 整 機 能 強 化 事 業 費	1,603,355	1,059,103	544,252
肥 育 牛 経 営 等 緊 急 支 援 特 別 対 策 事 業 (肥 育 生	430,486	1,218,487	△ 788,001
肥 育 牛 経 営 改 善 等 緊 急 対 策 事 業 (肥 育 牛 経 営	659,830	0	659,830
乳 用 種 雄 牛 後 代 検 定 事 業 費	26,556	22,630	3,926
乳 用 牛 改 良 増 殖 推 進 事 業 委 託 事 業 費	24,000	19,200	4,800
日 本 家 畜 人 工 授 精 師 協 会 委 託 事 業 費	41,494	41,746	△ 252
野 生 イ ノ シ ン 経 口 ワ ク チ ン 散 布 事 業 会 計 業 務	0	4,549,895	△ 4,549,895
受 取 負 担 金	2,264,217	2,045,232	218,985
牛 群 検 定 賦 課 金	2,264,217	2,045,232	218,985
受 取 手 数 料	1,115,400	1,124,200	△ 8,800
受 取 協 会 事 務 手 数 料	1,115,400	1,124,200	△ 8,800
雑 収 益	252,082	420,393	△ 168,311
受 取 利 息	606	2,129	△ 1,523
雑 収 益	251,476	338,264	△ 86,788
賛 助 会 費	0	80,000	△ 80,000
指 定 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	2,523,414	19,238,912	△ 16,715,498
経 常 収 益 計	66,700,465	89,406,895	△ 22,706,430
(2) 経常費用			
事 業 費	61,347,576	82,724,682	△ 21,377,106
給 料 手 当	18,370,513	18,497,845	△ 127,332
予 防 接 種 技 術 料	0	695,200	△ 695,200
臨 時 雇 賃 金	1,767,240	1,823,240	△ 56,000
出 向 負 担 金	0	1,200,000	△ 1,200,000
退 職 給 付 費 用	2,500,000	3,000,000	△ 500,000
法 定 福 利 費	2,929,248	3,000,595	△ 71,347
旅 費 交 通 費	648,508	648,494	14

科 目	当年度	前年度	増 減
通 信 運 搬 費	989,379	1,060,505	△ 71,126
事 務 消 耗 品 費	427,766	985,821	△ 558,055
印 刷 製 本 費	63,811	65,786	△ 1,975
賃 借 料	292,440	259,332	33,108
保 険 料	105,070	110,870	△ 5,800
諸 謝 金	14,000	14,000	0
租 税 公 課	734,192	1,892,382	△ 1,158,190
ワ ク チ シ ン 購 入 費	0	2,471,832	△ 2,471,832
支 払 負 担 金	3,030,114	2,703,024	327,090
家 畜 登 録 事 業 費	630,010	703,890	△ 73,880
精 液 取 扱 事 業 費	7,985,094	7,562,057	423,037
支 払 助 成 金	2,523,414	19,519,610	△ 16,996,196
支 払 市 町 村 交 付 金	0	20,860	△ 20,860
委 託 費	18,064,180	16,089,950	1,974,230
雑 費	272,597	399,389	△ 126,792
管 理 費	5,237,988	6,566,245	△ 1,328,257
給 料 手 当	104,572	394,505	△ 289,933
臨 時 雇 賃 金	12,000	6,000	6,000
法 定 福 利 費	20,017	9,748	10,269
会 議 費	302,783	287,703	15,080
旅 費 交 通 費	3,927	2,310	1,617
通 信 運 搬 費	72,213	53,649	18,564
事 務 消 耗 品 費	32,887	15,570	17,317
印 刷 製 本 費	4,844	5,772	△ 928
賃 借 料	106,535	108,405	△ 1,870
事 務 所 費	2,304,605	2,278,094	26,511
慶 弔 費	20,000	20,000	0
租 税 公 課	313,400	101,800	211,600
支 払 負 担 金	822,550	2,168,550	△ 1,346,000
雑 費	1,117,655	1,114,139	3,516
畜 産 振 興 費	9,000	9,000	0
畜 産 振 興 費	9,000	9,000	0
経常費用計	66,594,564	89,299,927	△ 22,705,363
評価損益等調整前当期経常増減額	105,901	106,968	△ 1,067
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	105,901	106,968	△ 1,067
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
指定正味財産からの振替額	0	10,279,000	△ 10,279,000
経常外収益計	0	10,279,000	△ 10,279,000
(2) 経常外費用			
返 戻 金	0	10,279,000	△ 10,279,000
家 畜 衛 生 基 金	0	10,279,000	△ 10,279,000
経常外費用計	0	10,279,000	△ 10,279,000
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	105,901	106,968	△ 1,067
一般正味財産期首残高	6,279,110	6,172,142	106,968
一般正味財産期末残高	6,385,011	6,279,110	105,901
II 指定正味財産増減の部			0
受 取 積 立 金	8,755,835	10,616,104	△ 1,860,269
生 産 者 積 立 金	8,755,835	10,616,104	△ 1,860,269
特 定 資 産 運 用 益	0	1,427	△ 1,427
特 定 資 産 受 取 利 息	0	1,427	△ 1,427

科 目	当年度	前年度	増 減
基金取崩額	2,523,414	29,516,485	△ 26,993,071
基金繰入額	8,755,835	10,616,104	△ 1,860,269
一般正味財産への振替額	△ 2,523,414	△ 29,517,912	26,994,498
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	6,385,011	6,279,110	105,901

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給債務額に相当する金額を計上している。

(2) リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は、通常の賃貸借処理取引に係る方法に準じた会計処理による。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式で計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	29,800,000	2,500,000	0	32,300,000
肥育安定基金預金	9,541,730	8,755,835	2,523,414	15,774,151
小 計	39,341,730	11,255,835	2,523,414	48,074,151
合 計	39,341,730	11,255,835	2,523,414	48,074,151

3 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金からの充当額)	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産					
小 計	0	0	0	0	0
特定資産					
退職給付引当資産	32,300,000				32,300,000
肥育安定基金預金	15,774,151				15,774,151
小 計	48,074,151	0	0	0	48,074,151
合 計	48,074,151	0	0	0	48,074,151

4 担保にしている資産 なし

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
家畜改良繁殖推進事業	福井県	0	626,000	626,000	0	
畜産経営技術高度化支援指導事業	福井県	0	890,000	890,000	0	
畜産経営技術指導事業	地方競馬全国協会	0	6,902,000	6,902,000	0	
合 計		0	8,418,000	8,418,000	0	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
特定資産運用益振替額	0
肥育牛補填金支払に係る振替額	2,523,414
経常外収益への振替額	0
合 計	2,523,414